

図書委員と先生の おすすめの本

『お任せ！数学屋さん』（向井 湘吾、ポプラ社）

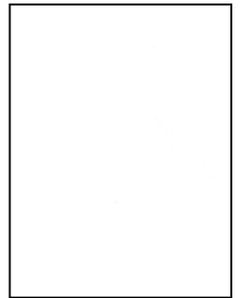
数学が苦手な中学2年生・遥の前に、不思議な転校生・宙がやってきた。ある日突然、彼はどんな悩みでも解決してくれる「数学屋」という謎の店を教室内で開店する。はじめは遠巻きに見ていた遥も店を手伝い始め、どんな相談ごとでも華麗に解決してゆく2人。だが、ある一通の手紙から、数学では解けそうにない「人の感情」という超難問にぶつかることに。彼らは果たしてどんな答えを導くのか？！3巻まであります。



『はたらく細胞』（清水 茜、講談社）

病気になった時、けがをした時には自分の体の中ではどのようなことが起きているのでしょうか。それをわかりやすく説明したのがこの本です。細胞などが擬人化されており、マンガなのでとても簡単に読み進めていけます。この本を読むと、これからの時期の病気の予防もできるかもしれません。

※12月2日第4巻発売予定



T先生紹介（『橋のない川』5巻 住井すえ 新潮文庫より）

つまり鵬（ほう）というのは荘子の空想の鳥です。（略）。こんな大きな鳥は、この世には居てませんやろ。そいじゃ、荘子はなんでこんな空想の鳥を持ち出したのか。それは人をあっと言わせるためか、それとも怖がらせるためか。わしは、そうやないと思うんです。 荘子は、わしらの住むこの世界を、ずーっと遠いところから、ずーっと外の方から眺めたかった、いや眺める必要があると思うたにちがいません。人にしても、家にしても、国にしても、また世界にしても、内側からばかり見ていたのでは、どこがどう間違っているか、わかるものではありませんから。そこで、人間の住む世界を飛び出して、遠いところから、この世界がどうなっているか確かめたかったんです。それには翼の長さが三千里で、一ぺんに九万里も飛び上がれる大きな鵬が必要なわけです。（以下略）

天草高校の校歌に出てくる「雛鵬（すうほう）」とは、この「鵬」の幼鳥のこと。いわば皆さんのことですね！

News

☆雑誌配布のお知らせ☆

2014年発行の雑誌の配布をします！！

12月14日（水）朝のSHR後
配布を始めます。欲しい人は取りに来て下さい。

お約束！

1. ひとり2冊まで
2. 必ず自宅に持ち帰る(教室・部室に放置しない)
3. バーコードに[消印]と押してある雑誌のみ

「スクリーン（映画）」「オレンジページ（料理）」

「ナンバー（スポーツ）」は争奪戦が予定されます。

欲しい雑誌がある人はお早めに！！

こぼれ囁

★修学旅行関連コーナーで。「先輩、東京で行っておいたほうが良いところは？」 情報収集、大事よね。

★夕課外前の3年生。「この本で、空腹がまぎれます！」とお菓子づくりの本をチョイス。そうなのね。がんばれ。

★館内が9度だった日。「冷房つけてるの？」「暑い所に本をおいてはいけないの？」 図書館前の廊下は暖かいよ！

★流行語大賞“神ってる”発表の翌日。「本は、紙ってる。」…確かに。